

第 98 号 (No.98)

2025 年 11 月 17 日

# Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

## 目 次

理事会報告（2025 年 6 月 20 日）

■審議事項

- I 総会議事
- II 第 36 回花園大学大会について
- III 各委員会の活動報告
- IV 第 37 回広島大学大会について

■報告事項

- V 事務局報告
- VI その他

〈総会報告（2025 年 6 月 22 日）〉

〈「秋のセミナー2025」（公開）のお知らせ〉

〈事務局からのお知らせ〉

---

## 理事会報告（2025 年 6 月 20 日）

---

出席者：石井理事、磯田理事、上地理事、上野理事、奥村理事、川口理事、唐木理事、金馬理事、倉本理事、草原理事、澤田理事、高橋理事、中野理事、西岡理事、二宮理事、根津理事、樋口理事、松下代表理事、的場理事、森理事、吉田理事、香川大学附属高松小学校、松下晴彦会員（花園大学）、藤井浩史会員（花園大学）（計 24 名）

事務局：竹川事務局長、富士原理事（計 2 名）

定例理事会が、2025 年 6 月 20 日（金）16 時から 18 時まで、花園大学自適館 202 教室にて対面形式で開催された。26 名（うち理事 24 名、事務局 2 名※2 名は理事をかねる、2025 年度大会開催校より 2 名）の参加があった。

審議に先立ち、松下代表理事より、開会の挨拶が述べられた。

### ■ 審議事項

#### I 総会議事

竹川事務局長より、総会議事として、2024 年度の活動報告、決算報告・監査報告ならびに第 36 回大会年度（2025 年度）活動方針案・予算案、会則の変更についての説明が行われた。

次に、全国の教育大学附属学校に団体会員の募集を行うことについて、現会員校による附属校ならではの会員としての実感や事務局で把握している実状などをアピールしてはどうかという提案があった。

学会会計については、繰越金を今後も積み立てていくのかを検討すべきではないか、資産として見なされないように特別会計にして分けるべきではないかと提案があり、事務局でも次年度に向けてガリレオ社とも相談をしていくことを約束した。

また、松下代表理事より 2030 年度に学会 40 周年を迎えるにあたっての記念事業検討のための委員会の立ち上げを検討すべきではないかと提案があり、次回理事会で検討することが確認された。

以上の議論を経て、予算案及び会則の変更を含む総会議事が承認され、一部表記の修正のち総会に提出することが確認された。

#### II 第 36 回花園大学大会について

磯田大会委員長より、資料に基づいて、翌日からの大会運営についての説明が行われた。

事前参加申込者数は 234 名（うち正会員 154 名、学生会員 19 名、団体会員 5 名、団体会員追加登録 8 名、理事会員 42 名、シンポジウムのみ 1 名、課題研究・シンポジウム登壇者である非会員 5 名）、公開シンポジウムのほかに発表件数は自由研究発表 65 件、課題研究 4 部会、自主企

画セッション 4 部会であることが報告された。託児室利用は 1 件（前年度 0 件）あり、開設したことも報告された。

### Ⅲ 各委員会の活動報告

#### 1. 学会賞委員会

磯田委員長より、「日本カリキュラム学会 優秀発表賞及び研究奨励賞に関する規程」を含む資料に基づいて、2025 年度の優秀発表賞ならびに研究奨励賞の選考方法についての説明が行われた。

優秀発表賞については、大会校からのエントリー者リストをもとに資格確認を行った結果、第 36 回大会のエントリー者は 26 名、審査対象者が 9 名となったこと、理事および対象者の発表のある分科会司会者に連絡済みであることが報告された。研究奨励賞については、例年通り 9 月 30 日までに候補者の推薦を受け付けることが確認された。

また、他の学会を例に、両賞の賞金を引き上げてはどうかという意見が出された。一方、受賞すること自体が十分に名誉のあることであり、賞金の多寡によって満足度を高めるのは主たる目的ではないのではないかという反対意見も出た。賞金について今後も検討を続けることを理事会から学会賞委員会へ依頼した。

#### 2. 紀要編集委員会

澤田委員長より、資料に基づいて、学会紀要（第 34 号）への協力のお礼とともに、納品および発送が完了していることが報告された。

この他、査読システムの仕様変更および 2025 年度の委員会活動についてのスケジュール案が提示された。

#### 3. 国際交流委員会

倉本委員長より、資料に基づいて、今大会の課題研究Ⅳ「教育の思想と実践をつなぐカリキュラム研究の国際的展開」の状況、海外カリキュラム研究情報の執筆者検討状況の報告が行われた。

国際交流委員会と広報・若手育成委員会の共催企画案として、「『教育研究を海外にどのように発信するか（仮称）』について」を検討中であること、具体的には WALS または他の国際学会での発表者（3 名程度）に登壇を依頼して実施する予定であることが報告された。

#### 4. 研究委員会

上地委員長より、資料に基づいて、2025 年 3 月 1 日（土）にオンライン形式で実施された春の研究集会の報告と、今大会の課題研究Ⅰ「多様な学びと学校の課題Ⅱ—多様な学びの多様性を考える—」、課題研究Ⅲ「人口減少社会の学校カリキュラムはどのように変わるのか？」の状況報告、ならびに 2026 年春の研究集会（秋の理事会に具体案を提出予定）、次年度大会の課題研究（例年通り 2 つの企画）は今後検討の予定であることが報告された。

## 5. 広報・若手育成委員会

唐木委員長より、資料に基づき、今大会の課題研究Ⅳ「教育行政とカリキュラム」についての状況報告、11月の秋のセミナーの日程・内容の提案、2月の若手育成セミナーの日程・内容の提案が行われた。日程については今回提案された候補日の中から登壇者との調整を行って決定することが確認された。

## Ⅳ 第37回広島大学大会について

草原大会実行委員会副委員長より、資料に基づき、大会実行委員会の体制、日程、会場等の報告が行われた。2026年6月20日（土）、21日（日）、広島大学東千田キャンパス（広島市内）にて対面実施予定であることが報告された。また、参加申込期限・要旨提出期限・発表申込期限および両日のタイムスケジュールについての提案も行われた。

## ■ 報告事項

### V 事務局報告

竹川事務局長より、資料に基づいて、会員現況報告、寄贈図書等一覧、会計中間報告（2025年度）について報告が行われた。

会員現況報告に関連し、各会員の現状にあった会員種別になっているかどうかについての質問があり、とくに「学生会員」について、現状確認と登録・継続時のあり方を、事務局において今後ガリレオ社とも相談しつつ検討していくことを確認した。

### Ⅶ その他

総会議事および委員会報告の他に、以下の議論が行われた。

海外からの登壇者に対する謝金について意見交換し、引き続き理事会で議論を行っていくことが確認された。

松下代表理事より、学会シンポジウムや委員会企画で同じ発表者に依頼が続く例が散見されることについて、学会としては、より多くの会員に機会を与えることも大切ではないかとの問題提起がなされた。

金馬理事より、月刊誌『教育』2025年5月号において奈良教育大学附属小学校特集を組んだとの情報提供があった。

---

## 総会報告（2025 年 6 月 22 日）

---

日本カリキュラム学会の第 36 回大会総会が、第 36 回花園大学大会の 2 日目（2025 年 6 月 22 日）の 12 時 15 分から 13 時 15 分まで、磯田文雄理事（第 36 回大会校／花園大学）と草原和博理事（第 37 回大会校／広島大学）を議長団として、開催された。

総会では、開会の辞、代表理事挨拶、大会校挨拶、議長団選出の後、「第 36 回大会総会 議事次第」に基づき、「第 35 回大会年度（2024 年度）活動報告について」、「2024 年度決算報告・監査報告」、および「第 36 回大会年度（2025 年度）活動方針案について」の説明と提案が行われた。会員からの意見や異議は出されず、すべての審議事項について承認された。

議長団解任の後、第 37 回大会（2026 年度）の大会校である広島大学の草原和博理事より、次回大会の準備・運営に対する抱負が述べられた。日程については 2026 年 6 月 20 日（土）、21 日（日）。会場は、交通至便な広島大学東千田キャンパス（広島市内）にて、対面形式での実施を予定していることが報告された。

総会終了後には、優秀発表賞ならびに研究奨励賞授与式が執り行われた。磯田文雄理事（学会賞委員長）より、優秀発表賞受賞者である森本和寿会員（「表現主義におけるカリキュラムの基本構造—アカデミックとパーソナルをつなぐライティング・プロセス—」第 35 回大会自由研究発表）と研究奨励賞受賞者である木村優会員（木村優・藤井佑介・三河内彰子「高校における探究型カリキュラムの実践による教師・学校の成長発展メカニズム」『カリキュラム研究』第 32 号、2023 年、pp.29-42）が紹介された。選考過程と受賞理由が説明された後、松下佳代代表理事より、研究奨励賞受賞に対する祝辞と、審査にあたった理事各位への御礼が述べられた。そして、両会員より、受賞対象となった研究の内容と経緯、指導教員をはじめとするすべての関係者への御礼、今後の研究に向けた抱負と決意が述べられた。

※このニューズレターの 6～11 ページに、当日配布資料を掲載。

## 第 36 回大会総会 議事次第

2025 年 6 月 22 日（日） 12:15－13:15

花園大学 返照館 100 教室

### 1. 開会の辞・代表理事挨拶 大会校挨拶

#### [議長団選出]

### 2. 第 35 回大会年度（2024 年度）活動報告について

#### （1）一般活動報告

##### ①現況概要（2025 年 6 月 5 日時点）

会員数や会費納入状況は以下の通りである。

- ・会員総数 688 名（一般会員 604 名、学生会員 78 名、団体会員 6 名）

※連絡先不明者 1 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 33 名を含む。

（2024 年度 707 名、2023 年度 706 名、2022 年度：701 名、2021 年度：712 名）

※2024 年度の新規入会者数は 50 名

- ・会費納入率（2025 年 6 月 5 日時点）

2025 年度（4/1～6/5）：完納 414 名 未納 274 名 計 688 名 60.1%（切り捨て）

※連絡先不明者 1 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 33 名を含む。

（2024 年度 89.5%、2023 年度：89.0%、2022 年度：92.1%、2021 年度：96.7%）

##### ②第 35 回大会報告

日本カリキュラム学会第 35 回大会は、2024 年 7 月 6 日・7 日の両日（理事会は 5 日）にわたり、筑波大学筑波キャンパスで開催された。参加者数は、290 名（一般会員 181 名、学生会員 25 名、団体会員：10 団体 19 名、臨時会員 65 名）であり、非会員の登壇者や公開シンポジウム参加者を含めると 300 名を超え、前回大会とほぼ同規模となった。このうち、事前参加申込者は 243 名であった。託児について補助を出すこととしていたが、今回の利用はなかった。2 日間で 62 件（16 分科会）の自由研究発表、4 件の課題研究、公開シンポジウム、3 件の自主企画セッションが実施された。会報第 95 号に大会報告を掲載した。

##### ③学会誌『カリキュラム研究』第 34 号発行

##### ④会報第 94・95・96 号発行

2024 年 7 月 20 日に 94 号、2024 年 10 月 31 日に 95 号、2025 年 2 月 17 日に 96 号を発行した。

## ⑤優秀発表賞及び研究奨励賞選考結果

### ・優秀発表賞

森本和寿「表現主義におけるカリキュラムの基本構造—アカデミックとパーソナルをつなぐ  
ライティング・プロセス—」第35回大会自由研究発表

### ・研究奨励賞

木村 優「高校における探究型カリキュラムの実践による教師・学校の成長発展メカニズム」  
『カリキュラム研究』第32号、2023.3、29-42 頁

※総会終了後、授与式を行います

## ⑥会員勧誘の結果（2024年度内）

新入会員 50 名（参考：昨年度 46 名、一昨年度 29 名）

## ⑦秋のセミナー2024の開催

日時：2024 年 11 月 16 日（土）13:30～16:00

テーマ：カリキュラム・マネジメント推進における校長のリーダーシップ」

開催方法：オンライン（zoom）

登壇者（五十音順）：

太田光寛氏（山口県教育庁義務教育課 主幹 前山口県山口市立徳地中学校校長）

眺野大輔氏（静岡県ふじのくに国際高等学校校長）

八釵明美氏（愛知県知多市立新知小学校校長）

司会：石田有記（日本体育大学）、村川雅弘（甲南女子大学）

コーディネータ・記録：石田有記（日本体育大学）、唐木清志（筑波大学）、  
村川雅弘（甲南女子大学）

## ⑧若手育成セミナー（第4回）の開催

日時：2025 年 2 月 22 日（土）10:00-12:30

開催方法：オンライン（Zoom）

テーマ：外国研究をどのように論文にするか

登壇者：森久佳（京都女子大学）

石田智敬（神戸大学）

安藤和久（広島大学）

山下大喜（山口大学）

司会者：西岡加名恵（京都大学）、川口広美（広島大学）

### ⑨第 15 回研究集会の開催

日時：2025 年 3 月 1 日（土）14：00～17：00

場所：オンライン開催（Zoom）

テーマ：ドイツ教育学におけるカリキュラム研究

ー日本カリキュラム学会研究奨励賞受賞者からの報告ー

報告者：田中怜（筑波大学）、宮本勇一（岡山大学）

司会：小柳和喜雄（関西大学）、樋口直宏（筑波大学）

### ⑩「日本学術会議法案に関する緊急声明」の発出

2025 年 5 月 2 日に日本カリキュラム学会理事有志として声明を出しました。

学会 HP に掲載。

## （2）2024 年度決算報告・監査報告

### 【総会資料 1】

2025 年 5 月 20 日に会計監査を行なった。2024 年度も、定例理事会や各種委員会活動、秋のセミナー、若手育成セミナー、研究集会がオンラインでの開催や活動となったため、学会運営に関わる支出が少なかったとの報告が事務局よりなされた。監査委員より、予算額と実績の増減の大きな費目の内訳について質問があったが、いずれについても十分な説明がなされた。2024 年度決算としては、大きな問題点や不明瞭な点はなかったが、繰越金が多額となっているため、何らかの形で会員に還元する取り組みを継続する必要性が監査委員より指摘された。

## 3. 第 36 回大会年度（2025 年度）活動方針案について

### （1）一般方針

- ①年次大会（第 36 回大会）の実施：花園大学を開催校として開催
- ②第 37 回大会（2026 年度）の準備：広島大学にて開催予定
- ③学会誌『カリキュラム研究』第 35 号発行
- ④優秀発表賞及び研究奨励賞の選考
- ⑤秋のセミナー2025 の開催
- ⑥第 16 回研究集会の開催
- ⑦会報、その他の広報活動
- ⑧会員勧誘

### （2）2025 年度予算案

### 【総会資料 2】

総会資料 2 の通り、予算案を作成した。

#### 4. 会則の改正について

改正内容：学会運営の更新のため、代表理事の多選について第 11 条 2 項の新設を提案する。

- ・第 11 条 2 代表理事の任期は通算で最長 2 期までとする。

#### 5. その他

- ① 学会ホームページから会員情報の更新を随時お願いします。

学会ホームページでは、会員専用ページとして「会員名簿検索システム」を導入しています。会員相互の連絡や情報交換のためのシステムですので、所属先の情報については可能な範囲で公開していただきますようお願いいたします。また、学生としての所属がなくなった場合は、一般会員への変更をお願いいたします（※会員資格の変更については、学会 HP の「会員名簿検索システム」で変更するだけでは反映されませんので、事務局または学会窓口までご連絡ください）

- ② 学会HPより入会申し込みができるようになりました。入会希望の方には是非ご紹介ください。

#### 6. 閉会の辞

## 【総会資料1】

日本カリキュラム学会

第35回大会年度（2024年度）決算報告書

（2024年4月1日～2025年3月31日）

### 収入の部

項目	予算額（円）	実績（円）
学会年会費	5,000,000	5,127,000
入会金	80,000	100,000
学会誌代・雑収入・利子等	30,000	33,319
第35回大会収入	1,000,000	1,902,500
前年度繰越金	11,553,853	11,553,853
合計	17,663,853	18,716,672

### 支出の部

項目	予算額（円）	実績（円）
第35回大会支出	2,000,000	2,662,174
第33号紀要刊行費（含む発送費、J-STAGE掲載経費）	700,000	782,558
学会賞費（研究奨励賞および優秀発表賞）	110,000	110,000
会合費（交通費他）	300,000	46,110
事務局経費	150,000	178,727
事務局外部委託費	2,000,000	1,713,744
財）日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
教育関連学会連絡協議会会費	10,000	10,000
各種委員会経費		
紀要編集委員会	100,000	1,720
国際交流委員会	100,000	61,254
研究委員会	300,000	133,762
広報・若手育成委員会	300,000	22,274
学会賞委員会	100,000	0
（小計）	900,000	219,010
学会ホームページ リニューアル	300,000	328,130
電子投稿システムの運用経費	350,000	373,340
電子投稿システムの機能追加	150,000	52,250
40周年記念事業準備費	500,000	0
予備費	200,000	0
次年度繰越金	9,943,853	12,190,629
合計	17,663,853	18,716,672

（次年度繰越金のうち、500,000円は40周年記念事業積立金に充当）

本簿について監査しました。

2025年5月20日

北田 佳子  
後利 誠

【総会資料2】

第36回大会年度(2025年度)予算案(2025年4月1日～2026年3月31日)

収入の部

項目	予算額(円)	備考
学会年会費	5,000,000	過去2年分の実績にもとづく
入会金	80,000	40名見込み
学会誌代・雑収入・利子等	30,000	
第36回大会収入	1,146,000	大会校の予算案にもとづく
前年度繰越金	12,190,629	
合計	18,446,629	

支出の部

項目	予算額(円)	備考
第36回大会支出	1,810,000	大会校の予算案にもとづく(大会業務委託費含む)
第34号紀要刊行費(含む発送費、J-STAGE掲載経費)	700,000	
学会賞費(研究奨励賞および優秀発表賞)	60,000	研究奨励賞1件、優秀発表賞1件
会合費(交通費他)	300,000	
事務局経費	200,000	クレジットカード決済手数料含む
事務局外部委託費	2,000,000	委託先「ガリレオ」
財)日本学術協力財団賛助会費	50,000	
教育関連学会連絡協議会会費	5,000	
各種委員会経費		
紀要編集委員会	100,000	
国際交流委員会	100,000	
研究委員会	300,000	
広報・若手育成委員会	300,000	
学会賞委員会	100,000	
(小計)	900,000	
学会ホームページ及び学会システム更新	300,000	会員検索¥60,000/年、サーバー管理¥47,000/年含む
電子投稿システムの運用経費	440,000	論文以外の紀要原稿の提出・校正やりとり分含む
団体会員勧誘活動	120,000	入会案内チラシ作成(業者)・郵送費等
予備費	200,000	
次年度繰越金	11,361,629	
合計	18,446,629	

※次年度繰越金のうち500,000円を40周年記念事業費に積み立てる。2025年度末積立金総額1,000,000円

---

## 日本カリキュラム学会「秋のセミナー2025」（公開）のお知らせ

---

### 「余白」の創出と活用による特色あるカリキュラムの実現

#### 【企画趣旨】

次期学習指導要領改訂に向けた議論が本格化している。本年 9月5日に、中央教育審議会教育課程企画特別部会で示された「論点整理（素案）」では「教師と児童生徒の双方に『余白』を生み出し、豊かな教育活動に繋げる仕組み」として「調整授業時数制度の創設」ならびに「全ての都道府県・指定都市での知見の蓄積を図るため、令和8年度より更なる事例創出の加速を図る」ことが指摘されている。論点整理（素案）に示された「調整授業時数制度」の成否は、各学校における「時間」という資源に着目した「余白」の創出と活用による効果的なカリキュラム・マネジメントの展開とそれを可能とする教育行政による環境整備が鍵を握る。

そこで本セミナーでは、貞広氏には中央教育審議会教育課程企画特別部会でのこれまでの主に「余白」に関する議論や今後の方向性を、玉村氏には、「余白」の創出と活用に係る研究開発学校の多様な特色あるカリキュラム開発の取組を、山口氏には現行学習指導要領下における公立小中学校における「余白」の創出と特色あるカリキュラム開発の取組を、ご発表いただき、「余白」の創出および特色あるカリキュラム開発の多様性・可能性について熱心な協議を行いたい。

【主催】日本カリキュラム学会（担当：広報・若手育成委員会）

【日程】2025年11月29日（土）9:30～12:00（予定）

【形態】オンライン（Zoom）

#### 【登壇者】（五十音順）

登壇者：貞広 斎子（千葉大学教育学部教授・中央教育審議会教育課程企画特別部会主査）

玉村 昌彦（目黒区教育委員会指導主事）

山口 博功（大阪市立長谷川小・中学校校長）

#### 【司会】

石田有記（日本体育大学）、村川雅弘（甲南女子大学）

#### 【コーディネータ・記録】

石田有記（日本体育大学）、唐木清志（筑波大学）、村川雅弘（甲南女子大学）

#### 【参加費、参加資格】

無料です。公開ですので、会員以外の参加も可能です。※ただし、録画・録音は禁止とします。

### 【参加申し込み】

Google Form を活用し、11 月 26 日（水）までに、お申し込みください。

<https://forms.gle/9QkjuWnB57QPw4hk9>

### 【参加方法】

Zoom を使用します。事前申し込みにご協力ください。申し込みを行った方には、開催日の前日となる 11 月 28 日（金）に、Zoom の URL と、発表者の配布資料を送付します。

### 【問い合わせ先】

日本カリキュラム学会事務局 (jscsstaff@gmail.com)

※「秋のセミナー」は、日本カリキュラム学会の社会貢献的行事として、すべての学校教育関係者及び教職を目指す大学生・大学院生、報道機関関係者、研究者等に公開しています。オンライン開催となっておりますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

---

## 事務局からのお知らせ

---

### 1. 会員現況概要（2025 年 6 月 5 日時点）

#### ■会員総数 688 名（一般会員 604 名、学生会員 78 名、団体会員 6 名）

※連絡先不明者 1 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 33 名を含む。

（2024 年度 707 名、2023 年度 706 名、2022 年度：701 名、2021 年度：712 名）

※2024 年度の新規入会者数は 50 名

#### ■会費納入率（2025 年 6 月 5 日時点）

2025 年度：完納 414 名 未納 274 名 計 688 名 60.1%（切り捨て）

※連絡先不明者 1 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 33 名を含む。

（2024 年度 89.5%、2023 年度：89.0%、2022 年度：92.1%、2021 年度：96.7%）

#### ■新規入会者(2025 年 2 月 17 日～2025 年 6 月 5 日)

	入会年月日	氏名	所属	会員種別	推薦者
1	2025/04/01	鄭 栄根	韓国教育課程評価院	正会員	根津朋実
2	2025/04/01	松岡 珠美	熊本市立西原中学校	正会員	緩利真奈美
3	2025/04/01	鈴木 由真	東京大学大学院	正会員	事務局
4	2025/04/03	光田 匠	奈良市立都跡小学校	正会員	森本和寿
5	2025/04/04	張 有玓	韓国教育課程評価院	正会員	根津朋実

6	2025/04/11	池内 愛花	東京学芸大学大学院	学生会員	橋本美保
7	2025/04/11	川口 貴大	兵庫教育大学	正会員	吉富芳正
8	2025/04/11	広島大学附属福山中・高等学校		団体会員	吉田成章
9	2025/04/17	松宮 有里	愛知教育大学	学生会員	磯部征尊
10	2025/04/22	藤井 亮平	横須賀市立長沢中学校	正会員	吉富芳正
11	2025/05/09	北林 雅洋	花園大学	正会員	磯田文雄
12	2025/05/22	野尻 美枝	実践女子大学	正会員	上野正道
13	2025/05/23	三好 真史	花園大学	正会員	磯田文雄

■退会者(2025年2月17日～2025年6月5日)

	退会日	会員名	所属	会員種別
1	2025/03/31	吉永 潤	神戸大学	正会員
2	2025/03/31	梅津 正美	鳴門教育大学	正会員
3	2025/03/31	西川 信廣	京都産業大学	正会員
4	2025/03/31	富田 福代	岐阜聖徳学園大学	正会員
5	2025/03/31	石田 美清	順天堂大学	正会員
6	2025/03/31	三石 初雄	帝京大学	正会員
7	2025/03/31	溝口 悦子	文京学院大学・拓殖大学・早稲田大学	正会員
8	2025/03/31	板山 勝樹	名桜大学	正会員
9	2025/03/31	谷田 増幸	兵庫教育大学	正会員
10	2025/03/31	田沼 茂紀	國學院大學	正会員
11	2025/03/31	石上 靖芳	静岡大学教育学部	正会員
12	2025/03/31	安江 真由美	岐阜大学	正会員
13	2025/03/31	瀬川 朗	所属非公開希望	学生会員
14	2025/03/31	井川 大介	北海道遠軽町立遠軽中学校 望の岡分校	正会員
15	2025/03/31	佐野 茂	所属非公開希望	正会員
16	2025/03/31	小谷 卓也	所属非公開希望	正会員
17	2025/03/31	ビュムバスレン エンフゲレル	所属非公開希望	正会員
18	2025/03/31	川田 大	所属非公開希望	正会員
19	2025/03/31	静岡県教職員組合立教育研究所		団体会員
20	2025/03/31	宮藺 衛	新潟大学	正会員
21	2025/03/31	臼井 紀子	栃木県立壬生高校	正会員
22	2025/03/31	木下 美和子	広島大学付属小学校	学生会員

23	2025/03/31	長濱 博文	桐蔭横浜大学	正会員
24	2025/03/31	小林 祐也	島根大学	学生会員
25	2025/03/31	黒田 拓志	香川大学教育学部附属高松小学校	正会員
26	2025/03/31	佐藤 雅之	所属非公開希望	正会員
27	2025/03/31	堂埜 善法	大和大学	正会員
28	2025/03/31	友利 久美子	所属非公開希望	正会員
29	2025/03/31	佐藤 昭雄	所属非公開希望	正会員
30	2025/04/17	鈴木 そよ子	所属非公開希望	正会員
31	2025/04/23	永田 忠道	広島大学大学院	正会員

## 2. 寄贈図書等一覧（2025年3月1日～2025年6月5日到着分）

著者名	タイトル	出版社等	発行日	受領日
ジェニー・ワイナー, モニカ・C・ヒギンズ著, 八尾坂修他訳	教育における女性リーダーシップ: 学校・行政バイアスからの脱却	風間書房	2025.3.31	2025.3.17
マキシム・グリーン(著), 上野正道監修, 桐田敬介他訳	想像力をときはなつ: アートと教育が社会を変える	勁草書房	2025.3.3	2025.3.17
永島孝嗣, 東京都江戸川区立二之江中学校編著	不断の学校改革: 区立中学校の挑戦21年	麻の葉出版	2025.3.31	2025.3.31
安藤和久	学校改革としてのイエナ・プランナー・ペーター・ペーターゼンの自律的教育科学の構想を訪ねて	春風社	2025.3.14	2025.4.7
大久保真紀, 西岡加名恵, 今垣清彦, 木村幹彦著	「『生きる』教育」で変わる未来: 学校を子どもたちの「心の安全基地」に	日本標準	2025.3.25	2025.4.14
松下佳代, 川地亜弥子, 森本和寿, 石田智敬編	ライティング教育の可能性: アカデミックとパーソナルを架橋する	勁草書房	2025.4.14	2025.4.17
Tetsuo KURAMOTO	School-Based Curriculum Management and Lesson Study for Teacher Education	丸善プラネット	2025.3.24	2025.5.17

### 3. 会計途中報告について

日本カリキュラム学会

第36回大会年度（2025年度）中間報告書

（2025年4月1日～2025年5月31日）

#### 収入の部

項目	実績（円）	
学会年会費	3,189,000	
入会金	26,000	
学会誌代・雑収入・利子等	0	
第36回大会収入	1,004,000	
前年度繰越金	12,190,629	当期収入
合計	16,409,629	4,219,000

#### 支出の部

項目	実績（円）	
第36回大会支出	0	
第34号紀要刊行費（含む発送費、J-STAGE掲載経費）	0	
学会賞費（研究奨励賞および優秀発表賞）	0	
会合費（交通費他）	0	
事務局経費	12,763	
事務局外部委託費	130,936	
財）日本学術協力財団賛助会費	0	
教育関連学会連絡協議会会費	0	
各種委員会経費		
紀要編集委員会	0	
国際交流委員会	0	
研究委員会	0	
広報・若手育成委員会	0	
学会賞委員会	0	
（小計）	0	
電子投稿システムの運用経費	0	
予備費	0	当期支出
次年度繰越金	16,265,930	143,699
合計	16,409,629	当期収支差額

（次年度繰越金のうち、1,000,000円は40周年記念事業積立金に充当） 4,075,301

#### 4. 令和7年度（2025年度）分会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の会員の方は、納入をお願い申し上げます。2025年6月5日時点での2025年度会費の納入率は60.1%です。納入促進に、会員みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。また、前年度（2024年度）分までの年会費が未納の会員の方におかれましては、未納分の年会費の納入もあわせてお願い申し上げます。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく（株）ガリレオ・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。

（年会費：一般 8,000 円、学生 5,000 円、団体 10,000 円）

#### 5. 会員情報更新のお願い

学会ホームページから会員情報の更新を随時お願いします。学会ホームページでは、会員専用ページとして「会員名簿検索システム」を導入しています。会員相互の連絡や情報交換のためのシステムですので、所属先の情報については可能な範囲で公開させていただきますようお願いいたします。

また、学生としての所属がなくなった場合は、一般会員への変更をお願いいたします（こちらは学会ホームページの「マイページ」の変更と併せて学会事務局までご連絡ください。

#### 【入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先】

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2 丁目 39-2-401

（株）ガリレオ学会業務情報化センター内

TEL 03-5981-9824 FAX 03-5981-9852 ※電話受付 平日 11:00～16:00

E-mail : g050jscs-support@ml.gakkai.ne.jp

#### 【上記以外の学会運営に関する問い合わせ先】

〒448-8542

愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 竹川慎哉気付

日本カリキュラム学会事務局

E-mail : jscsstaff@gmail.com

#### 【学会ホームページ】

<https://jscs-info.jp/>

※2024年4月10日に学会ホームページのドメイン（URL）を移転しました。